



特集

社員輝けば、顧客微笑む

「人」の可能性を追求する
東海バネ工業の経営とIT

ITは道具。だから使う人の状態によって結果も自ずと変わってくる。ITを上手に活用できる会社には、確固たる経営方針とそれを実現する社風が根付いている。今回は、そうした企業の中から1社を取り上げ、徹底研究する。

この空気、いったい何だろう？
爽快感、人を魅了する陽性のエネルギーのようなもの。この会社を訪れると不思議と感じる「風」がある。

ITの積極的な活用で経営改革に成果を上げている東海バネ工業（本社：大阪府大阪市）は、2003年度の関西IT百撰最優秀賞を受賞するなど、中小企業IT化のモデル企業として注目を浴びている（本誌でも2004年冬号でWeb活用による新規顧客開拓の様子を紹介）。改革へのため意欲と的確な判断がIT投資の効果を高めている。
東海バネ工業はあらゆるバネをI

個から生産可能という多品種微量生産が売りのバネ製造業。世界に誇る技術を持つ「バネ職人」が、一つのバネに息を吹き込んでいく。その姿を見ると、むしろITとは対極にある会社のような印象すら受ける。「産業革命以来変わらないローテクなバネ屋」(渡辺良機社長)は、なぜITに注目し、IT化を実行し、成果を上げることができたのだろうか。
同社の社員は元気が浮き足立たず、謙虚だが自信に満ち溢れて見える。
経営とITが密接な関係にある以上、その理由はこの社風と無縁ではないはず。むしろ、ここに成功の本

質が潜んでいるに違いない。
ITを使いこなせる会社の社風——
経営方針とは？
本特集ではこのような問題意識のもと、東海バネ工業のIT化の歩みをたどり、中小企業における経営の一つのあり方を探っていく。

会社紹介 東海バネ工業株式会社

本社：大阪府大阪市福島区鷺洲3丁目7-27
兵庫県伊丹市に伊丹工場、同豊岡市に豊岡神美台工場、東京、広島に営業所を持つ。
事業内容：金属バネ製造。高品質バネと高難度バネを支える高い技術力と開発力で、大型から小型までのバネを扱う。1個から生産可能という多品種微量生産が特徴（平均受注ロット5個）
*ISO 9001&14001 認証企業。
創業以来赤字決算は一度もない。
資本金：9644万5000円
売上：13億円
従業員数：70名
創業：1934年（昭和9年）
代表取締役社長 渡辺良機